

第4学年 国語科学習指導案

日 時 令和6年9月20日(金) 5校時

児 童 4年桜組 25名

指導者 中谷 啓人

1 単元・題材名 ことわざ・故事成語を使おう 「伝えたい言の葉」 (東京書籍4年上)

2 単元設定の理由

- ① 本学級の児童は、友達と関わり合いながら何事も一生懸命取り組むことができる。1学期の授業での学びを活かし、相手に物事を分かりやすく伝えたり、意図に合った言葉を選んで話したりできつつある。しかし、会話や発表の様子から、語彙数が少なくイメージを膨らませ、豊かに表現することができていない児童も数名いる。そこで、本単元を通して様々な「ことわざ・故事成語」との出会いから語彙や言語に関する知識を豊かにさせたいと考えている。ことわざ・故事成語の意味に着目させ、自分の生活経験と重ねて短い文章で書き表す学習を通し、昔から伝わっている言葉がもつよさやおもしろさを認識しながら日常生活でも自分の思いや考えを豊かに表現し、適切に進んで使おうとする態度を養う。
- ② 児童は2年生で「むかしからつたわる言い方」、3年生で「慣用句を使おう」を学習し、生活の中の言い回しや昔から広く言い習わされてきた慣用句について学んできている。4年生では、「もしも、こんなことができるなら」「話を聞いて質問しよう」「わたしのクラスの生き物図かん」「人物の気持ちと行動を表す言葉」「山場のある物語を書こう」などの学習を通し、様々な表現の仕方や伝え方を学んできている。本単元を通して、ことわざ・故事成語の意味を調べ、自分の経験を重ね合わせて使い方を考えることで、実際の生活場面で使える力を養い、進んで使おうとする態度を身に付けていく。言語文化に親しみ先人の知恵を知るこの学習を通して、昔の人のものの見方や考え方を知り、文章を書くという高学年の学習へと発展させていく。相手の気持ちを考え、場面や状況に応じた言葉を適切に使い、表現することができるよう指導する。
- ③ 本単元では、長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、それを使う活動を通して「語句の量を増し、語彙を豊かにすること」「言葉や文章を工夫して表現すること」を4コマ漫画を作るという目的意識をもって学ぶ。

ことわざや故事成語は、昔の人の生活経験や古く中国から伝わる書物などから生み出され、伝えられてきた知恵や教訓、知識を含んだ言葉である。これらは、簡潔で語呂がよいため覚えやすく、心理を巧みに言い表しているものが多い。多くの人々に使われてきたが、近年は使う人や場面が減ってきていると感じる。そこで、身近にある昔の言葉を知することは、今後の古典学習への導入になると考える。

AIとの共生が予見されるこれからの時代を生きるうえで、周りの人の気持ちを考えて言語を使うという言語感覚も大切にしたい。ことわざは、現代の社会では意味の通じないものや、今の人権感覚や考えからすればふさわしくないものも含まれている。他人を不愉快な思いにさせたり、傷つけたりすることのないように、単に辞書的な意味を知るだけでなく、相手や場面、状況に合わせた適切な使い方まで含めて理解し、日常生活の中で活用できるよう指導する必要がある。

そこで、タブレットを活用して言葉を選び、表現を工夫する思考操作を繰り返し行い、言葉の意味や使い方に着目しながら、表現のよさを問い直し、言葉への自覚を高めていきたい。そして、読み合う場を設定し、書き方や表現の工夫を見つけて伝え合ったり相談したりする活動に取り組む。また、テーマにあった写真やスタンプ、自分で描いたイラストなどからイメージを膨らませる工夫も取り入れる。最終的に、作品は「ことわざ・故事成語ブック」として印刷配付し、お互いに伝え合うことを通し、言語に関する知識や技能をより豊かにさせ、ことわざや故事成語のよさやおもしろさを共有する。

3 単元の目標

- ◎ ことわざや故事成語について意味や使い方を理解し、文や文章を書くができる。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
長い間使われてきたことわざや故事成語などの意味を知り、使っている。	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、比較したり分類したりして伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして文や文章を整えている。	進んでことわざや故事成語について理解し、学習課題に沿って、文や文章を書こうとしている。

5 指導計画

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○これまでの経験から知っていることわざや故事成語について話し合い、特徴について考え、まとめる。 ○ことわざや故事成語を集めて友達と交流する。 ○自分の経験をもとに、紹介することわざや故事成語を4コマ漫画に表すという学習の見通しをもつ。	・既習事項を振り返りながら、ことわざや故事成語の意味をおさえると共に、慣用句との違いも分かるように指導する。 ・児童の伝えたいという思いを引き出すために、教師が例を提示するなどし、学習への意欲を高めて見通しがもてるようにする。	【態】ことわざや故事成語について意欲的に理解し、学習課題に沿って、ことわざや故事成語を集めている。[記述・発言]
2 3	○毎日の生活の中での多様な経験から、ことわざや故事成語を集めて精選し、紹介する語を決める。 ○組み立てを考え、4コマ漫画を書き、文章全体の構成を整える。	・インターネットで検索したり国語辞典やことわざ・故事成語辞典を活用したり、教師や家族など大人に聴いたりするなど多様な調べ方で語彙数を増やし、知識を広げられるようにする。 ・テーマにあった写真をタブレットで撮ったり、スタンプを活用したり、自分で描いたりして4コマ漫画のイメージを考えさせる。	【知】長い間使われてきたことわざや故事成語などの意味を知り、使っている。[記述・タブレット] 【思】ことわざや故事成語を積極的に調べ、経験したことなどから選び、表現したいことを明確にしている。[観察・記述・タブレット] 【思】進んで間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりしようとしている。[観察]

	○グループで4コマ漫画を読み合い、工夫や改善点について話し合う。よりよい表現や構成はないか、誤字や脱字はないか考えて練りあげる（本時3/4）。	・グループで添削する場を設定することで、粘り強くよりよい表現を問い直していけるようにする。また、表現の仕方や構成などで迷っていることなどがあれば相談し合うよう助言する。	【態】進んで友だちと交流している。[観察] 【思】4コマ漫画が分かりやすく伝わる表現を、工夫して取り入れている。[記述・タブレット]
4	○もう一度自分の作品を見直し、グループで話し合ってから最終修正し、作品を仕上げて提出する。 ○全体で4コマ漫画を読み合い、学習記録を書いて単元の学習を振り返る。	・グループの友だちと話し合い、共感したところやよいところを見つけ、自分の作品をさらに工夫できるよう指導する。 ・ことわざや故事成語を伝えるために、どのような書き表し方を工夫したのかを話し合い、単元全体を振り返って学習記録を書かせる。	【態】自分の創作過程を振り返り、身に付けた力を今後に活かす意欲をもっている。[発言・記述]

6 本時の学習

(1) 目標

ことわざや故事成語から4コマ漫画を制作し、意味がより伝わる表現の工夫を考えて整えることができる。

(2) 展開

時間	学 習 活 動	主な指導・支援	評価規準と方法
5	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○ カフートクイズを活用し、前時を振り返り、本時への意欲を持たせる。	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして話合っている。[観察・タブレット] 【思・判・表】
	意味がより伝わるよう、4コマまんの表現やデザインを工夫しよう。		
5	2 自分の書いた4コマ漫画を見直す。 ・表現など悩んでいるところや友だちにアドバイスをもらいたいところなどを見直す。	○ 自分の書いた4コマ漫画を見直し、タブレットを活用して自分が工夫したところや友だちに聞きたいところなどをまとめさせる。	
15	3 よりよい表現にするためにグループで読み合い、アドバイスをし合ったり、工夫しているところについて話し合ったりする。	○ 前時までに学習した「伝え方や表現の工夫」を意識させ、書き手の思いや考えを聞きながらアドバイスをしたり、よいところを見つけたりできるように支援する。 ○ 交流することで、表現方法の多様性や生活経験の違いから、読み手によって受け取り方や感じ方が変わってくることのよさやおもしろさに気付かせる。	
15	4 アドバイスをもとに4コマ漫画を整える。 ・正しい使い方になっているか。 ・相手に意味がより伝わる表現やデザインになったか。	○ 友だちのアドバイスを参考に自分の作品を読み返し、整えたり背景の写真を選び直したり、描いたイラストを直したりできるように助言する。	
5	5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	○ 話し合ったり、添削したりしたことについてタブレットで振り返り、次時の学習の予告をする。	進んで間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりしようとしている。 [観察] 【思・判・表】

(3) 評価規準

「十分満足できる」と判断される状況	4コマ漫画がより相手に伝わるようにするために、友だちと話し合い、進んで表現やイラストの工夫をし、整えている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	「伝え方や表現の工夫」のプリント、友だちや教師のアドバイスを参考にして、自分の4コマ漫画を整えられるよう個別指導を行う。